

施設名		構造能力	施設更新計画に伴う調査	調査結果	更新計画	更新履歴
取水施設	第1取水口	電動式ゲート 幅1.2m×高1.5m				平成7年度ゲート更新
	第2取水口	電動式ゲート 幅1.2m×高1.5m、隧道 L=20.8m	平成26年度健全性評価(目視調査) 平成30年度背面空洞調査	コンクリートのクラックが確認できる。	隧道部本線と同様	平成11年度ゲート更新
導水施設	導水路	隧道(馬蹄形構造) 幅1.2m×高1.5m×長383.0m	平成26年度健全性評価(目視調査) 平成30年度背面空洞調査	コンクリートの剥離、洗掘、ジャンカ、クラックが全線にわたり確認できる。一部にはコンクリートの割裂箇所から水流が進入して空隙になっているところも確認できた。	①河川区域内であるため別ルートでの送水が出来ない。 ②更生工法を行うための作業ヤードの確保ができない。 ③隧道は地山と一体的に挙動するため、地震による影響は小さく耐震性は高いと考えられる。 ①～③により表面補修及び空隙充填を行い、延命化を図る。	
		鋼製水管橋φ800 L=8.0m	平成29年度 橋台部耐震診断(OK)			令和2年度更新
		上部開放型コンクリート水路 幅1.2m×高2.0m×長33.0m				平成13年度更新
	余水吐	電動式ゲート 幅1.2m×高1.9m、隧道 L=16.3m	平成26年度健全性評価(目視調査) 平成30年度背面空洞調査	コンクリートの剥離、洗掘、ジャンカ、クラックが全線にわたり確認できる。	隧道部本線と同様	平成21年度更新
	接合井	コンクリート製 幅3.0m×高6.0m×長4.0m	平成26年度健全性評価(目視調査)	クラックもなく、健全な状態である。	現状維持、継続して監視を行う。	
	導水管	ヒューム管φ1000mm L=135.30m	平成26年度健全性評価(目視調査)	ヒューム管周辺にコンクリート巻立てが施されており、構造的には十分な強度を有している。	現状維持、継続して監視を行う。	
		鑄鉄管φ900 L=174.33m				平成6年度更新
鑄鉄管φ800 L=53.50m					平成25,26年度更新	
鋼管φ800 L=12.90m					平成25年度更新	
配水施設	配水池	コンクリート製 幅8.0m×深3.2m×長35.0m×3池=2,688m ³				平成27,28年度:耐震補強
	配水管	鑄鉄管φ800 L=5,545m 更新・耐震化完了区間:2,343m 更新・耐震化必要区間:3,202m	平成29年度管内外面調査	管路内面は概ね健全であるが、異形管部内面については劣化が激しい。外面及び継手部については、腐食性土壌の部分で若干の腐食が見られる。	R3に更新計画を見直し、高専通りへのバイパス路線の構築を進めるとともに、残りの区間については管更生工法での更新を検討する。	平成29年度～令和2年度: 北新町～新田町布設替え 令和3年度～令和5年度:図書館南耐震補強 令和5年度～:高専通り耐震管布設
		鑄鉄管φ700 L=2,520m				昭和62年度～平成2年度: パイプインパイプにより更新
		鑄鉄管φ200～φ500 L=205m				平成10年度更新